

岸田川でアユを捕食する  
大型の水鳥カワウによる被  
害を減らすと、浜坂高(新  
温泉町芦屋)の生徒が20日、

# 地域の清流見守って 浜坂高生 恒例「かかし」製作



カワウ対策のかかしに思い思いの顔を描く生徒。20日、新温泉町芦屋の浜坂高

同校でかかし作りに取り組んだ。完成した7体は、岸田川漁協が同町新市の川沿いに設置する。

岸田川の環境保全活動に取り組む同校と漁協、豊岡土地改良センターなどが協力し、2019年からかかし作りを行っている。この日は同校の1、2年生20人が、漁協の組合員から教わりながら作業を進めた。生徒たちは、十字に組み合わせた竹に服や布をかぶせ、わらを詰めて人間の形にしていた。最後に思い

思いの顔を描き、ユニークなかかしを完成させた。2年の朝野卓人さん(17)は「このかかしで岸田川がもっと盛り上がってほしい」と話していた。

同漁協の杉谷勉組合長によると、かかしを設置した場所にはカワウが寄ってこず、効果が表れているという。「地域の人から高校生も作るかかしを待ち望む声もある。これからも地域一体となって清流を守ってきたい」とした。

(竹内涼子)